

平成28年9月8日  
於  
府中市立教育センター

平成28年第9回

府中市教育委員会定例会議事録

府中市教育委員会

平成28年第9回府中市教育委員会定例会議事録

- 1 開 会 平成28年9月8日(木)  
午後3時30分  
閉 会 平成28年9月8日(木)  
午後4時02分
- 2 議事録署名員  
教育長 浅 沼 昭 夫  
委 員 崎 山 弘
- 3 出席者  
教育長 浅 沼 昭 夫 委 員 崎 山 弘  
委 員 齋 藤 裕 吉 委 員 村 越 ひろみ  
委 員 松 本 良 幸
- 4 欠席者  
なし
- 5 出席説明員  
教育部長 今 永 昇 文化スポーツ部長 五味田 公 子  
教育部次長兼学務保健課長 堀 江 幸 雄 文化スポーツ部次長兼生涯学習スポーツ課長 沼 尻 章  
教育部副参事兼指導室長 伊 藤 聡 文化振興課長 山 本 忠  
総務課長 志 摩 雄 作 文化振興課長補佐 平 野 妙 子  
学校施設担当主幹 山 田 英 紀 ふるさと文化財課長 江 口 桂  
総務課長補佐 遠 藤 公巳明 ふるさと文化財課長補佐 渡 辺 純 子  
給食担当主幹 鈴 木 哲 夫 ふるさと文化財課市史編纂担当主幹 英 太 郎  
学務保健課長補佐 大 井 孝 夫 生涯学習スポーツ課長補佐 宮 崎 誠  
指導室長補佐 古 塩 智 之 図書館長 酒 井 利 彦  
統括指導主事 日 野 正 宏 図書館長補佐 山 本 征 史  
統括指導主事 国 富 尊 美術館副館長 須 恵 正 之  
指導主事 平 井 克 行  
指導主事 坂 元 竜 二  
指導主事 棗 まゆみ
- 6 教育委員会事務局出席者  
総務課係長 鈴 木 絃 美  
総務課事務職員 國 分 真 耶

## 議 事 日 程

第1 議事録署名員指名について

第2 会期決定について

第3 議 案

第4 報告・連絡

- (1) 平成28年度日光林間学校実施結果について
- (2) 「市民文化の日」の開催について
- (3) 第7回武蔵府中熊野神社古墳まつりの開催について
- (4) 第20回みんなのスポーツdayの開催について
- (5) 絵本だいすきおはなしキャラバンについて
- (6) 小学生のためのブックトーク「おいでよ！よむよむ探検隊」について
- (7) 布の絵本とさわる絵本について

第5 その他

第6 教育長報告

第7 教育委員報告

午後3時30分開会

○教育長（浅沼昭夫君） ただいまより、平成28年第9回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

◇

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第1、議事録署名員指名につきまして、本日の議事録署名員は、私のほか崎山委員にお願いいたします。

◇

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第2、会期の決定でございますが、会期は本日1日といたします。

◇

◎傍聴許可

○教育長（浅沼昭夫君） 傍聴希望者がおりますので、許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

◇

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第3、議案でございますが、本日は議案の審議はございません。

◇

◎平成28年度日光林間学校実施結果について

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第4、報告・連絡に移ります。報告・連絡（1）を学務保健課、お願いいたします。

○学務保健課長補佐（大井孝夫君） それでは、資料1に基づきまして、平成28年度日光林間学校実施結果について報告いたします。

日光林間学校は、小学校全22校の6年生を対象に、7月21日から8月11日の間に実施いたしました。8月4日、5日には、教育委員の皆様にもご視察をいただき、子どもたちの食事の様子や日光東照宮、華厳の滝の見学場所をご覧いただくとともに、ハイキングにも一部同行していただきました。

今年は日光東照宮の一部で改修・修復工事のため、見学できない箇所もございましたが、技術者による実際の修復作業風景など例年と異なる東照宮の様子を見学していただきました。参加状況でございますが、参加児童数は2,125人で、在籍数2,152人に対し、参加率は98.7%でございます。前年度と比較して、0.1%高い参加率となりました。

裏面をご覧ください。参加状況でございますが、27人の児童が不参加となりました。不参加の理由といたしましては、体調不良、けがなどが12人で、学校不適應などによる家庭の事情が12人、校外のスポーツ活動への参加が3名ございました。

実施期間中、児童に大きな事故、けが等はございませんでしたが、軽度熱中症による頭痛の症状及び鼻血により2名が日光市民病院で診察を受けました。

また、旅行期間中、いろは坂でバスのトラブルがあり、先生・児童にご心配をおかけしてしまいました。バス借上業者からトラブルの状況報告及び謝罪がありましたので、日々の整備点検及びトラブルへの対応等について、さらなる徹底を求めました。

次年度以降の契約におきましても、徹底を図ってまいりたいと考えております。

報告は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○教育長（浅沼昭夫君） この件につきまして、何かご質問、ご意見ございますか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（1）について了承いたします。



◎「市民文化の日」の開催について

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡（2）を文化振興課、お願いします。

○文化振興課長補佐（平野妙子君） それでは、お手元の資料2に基づきまして、「市民文化の日」の開催について、文化振興課よりご説明いたします。

市民文化の日は、市内の文化施設等を無料で開放するなど、市民が文化芸術に親しみやすい環境づくりを進めるため、平成26年の市制施行60周年を機に、10月の第2日曜日に設定いたしました。

今年度は、10月9日日曜日を市民文化の日といたしまして、郷土の森博物館、美術館を無料で開放するほか、グリーンプラザ、ふるさと府中歴史館、生涯学習センターなどの文化スポーツ部所管の各施設において、また都立の府中の森公園にもご協力いただき、パンフレットに記載のとおり、9つの施設で各種イベントを実施いたします。今回は、市民文化の日に限り、施設内レストランなどで無料提供や割引が受けられるサービスもご用意いたしております。

委員の皆様にはぜひご来場いただきたくご案内申し上げます。

以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） この件につきまして、何かご質問、ご意見はございますか。

○委員（齋藤裕吉君） 大変わかりやすい案内パンフレットになっていると思いますけれども、これはどのような配り方をされるのか、計画を聞かせていただければと思います。

○文化振興課長補佐（平野妙子君） 今年度につきましては、今、お手元にごございますパンフレット、また1面に掲載しております形でポスター等を作成いたしまして、まず9つの施設に置いて、市民または近隣の方にお手元にとっていただけるように配布をしていきたいと考えております。

また、府中の森芸術劇場では、友の会というものもございますので、その方には個別に劇場のほうから郵送して周知を図ってまいりたいと考えております。

○文化振興課長（山本 忠君） 補足させていただきます。今の施設のほかに、文化センターであったり、各市の施設でもこのパンフレットを配布させていただくとともに、ホームページにも掲載して、このパンフレットが見られるような状況にさせていただきたいと考えてございます。

○教育長（浅沼昭夫君） ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは報告・連絡（2）について了承いたします。



◎第7回武蔵府中熊野神社古墳まつりの開催について

○教育長（浅沼昭夫君） 続きまして、報告・連絡（3）をふるさと文化財課、お願いします。

○ふるさと文化財課長補佐（渡辺純子君） それでは、ふるさと文化財課から第7回武蔵府中熊野神社古墳まつりについて、資料3に基づきご報告いたします。

全国で類を見ない、最大規模で最古の上円下方墳である熊野神社古墳は、さまざまな雑誌に取り上げられ、また遠方から、毎年古墳まつりを楽しみに来られるリピーターも増えるなど、注目を集めております。この古墳まつりは、熊野神社古墳保存会を中心に、周辺の自治会や市民団体等のご協力により、2日間にわたって開催されます。第1日目は10月8日土曜日の午後5時から8時までで、前夜祭といたしまして、古墳のライトアップ、灯籠や松明で浮かび上がるステージでのコンサートなどを実施し、第2日目は、9日日曜日の午前10時30分から午後4時までで、雅楽に乗せた古墳パレードや、全国的に有名な、府中東高校の和太鼓の演奏のほか、本宿小学校、府中第五小学校のご協力による合唱等の出演やぬりえコンクールなど、さまざまな催しを実施いたします。当日は小雨決行で実施いたします。

古代の息吹を感じる古墳まつりにぜひお越しいただきたく、ご案内申しあげます。

以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） この件につきまして、何かご質問、ご意見はございますか。

○委員（松本良幸君） 古墳まつりに直接ではないのですが、西側の用地のほうの買収等が進んで、今、広がっているようではございますけれども、この活用等について何か青写真等、もしあるようでしたら教えていただけますでしょうか。

○ふるさと文化財課長補佐（渡辺純子君） 今年度、この熊野神社古墳の公園整備ということで、基本設計の実施を進めているところでございまして、そこで業者が選定されましたので、今後、業者と一緒にまず図面を描きまして、これを地元の住民の方々等と一緒にご協議を重ねながら、今後、実施設計の完成に向けて進めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。

それでは報告・連絡（3）について了承といたします。



#### ◎第20回みんなのスポーツdayの開催について

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡（4）を生涯学習スポーツ課、お願いいたします。

○生涯学習スポーツ課長補佐（宮崎 誠君） 生涯学習スポーツ課より、第20回みんなのスポーツdayの開催について、お手元の資料4に基づき報告いたします。

10月10日、体育の日にちなみ、市民がスポーツに親しむ機会の提供を目的として、市内6か所の地域体育館を無料開放し、スポーツ推進委員や各地域体育館の運営協議会を始め、トップチームや近隣の各学校などとの協働により、レクリエーションスポーツ体験や各体育館での特別企画などを実施いたします。

詳細につきましては、資料のとおりでございますが、委員の皆様にもご覧いただきたく、ご案内申しあげます。

以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） この件につきまして、ご質問、ご意見はございますか。

○委員（齋藤裕吉君） 今日はちょうどパラリンピックの開会式ということで、多くの皆さんがテレビ等で見ていらっしゃると思いますが、障害のある方々がこういう体育館を活

用して、こういうことをやりたいという要望はこれまでございませんでしたでしょうか。

このプログラムを見ますと、この中には障害者スポーツという内容が組み込まれていないように思うのですけれども、いかがでしょうか。

○生涯学習スポーツ課長補佐（宮崎 誠君） 障害者スポーツということで体育館を利用したいという具体的なご要望というのは伺っていない状況でございますが、この中で実施しているものの中には、障害がある方でも可能な競技、例えばバグジーといって袋を投げて穴に入れるというようなスポーツなのですけれども、そういった軽度の知的障害がある方でも対応できるものもございますので、そういったところで周知を進めていきたいと考えているところでございます。

○教育長（浅沼昭夫君） 今までに要望があったかどうかということは。

○生涯学習スポーツ課長補佐（宮崎 誠君） 失礼いたしました。特に今まで具体的なこのスポーツを取り入れてやってほしいというご要望は受けていないところでございます。

○文化スポーツ部次長兼生涯学習スポーツ課長（沼尻 章君） 補足させていただきます。要望というわけではないのですけれども、体育館ではスペシャルオリンピックといまして、卓球の知的障害者の方が日々、白糸台体育館等で活動しているという例が1件ございます。障害者の方から何をやりたいという事業希望がないということだけでございまして、実際にはそういった形で障害者の方がお集まりいただき、ご利用している実績はございますので、一言補足させていただきます。

○委員（齋藤裕吉君） わかりました。そういう要望等があれば、どんどん市の施設を活用していただけるような、そういう取組というか姿勢がとても大事だと思いますので、このような質問をさせていただきました。

○教育長（浅沼昭夫君） ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（4）について了承いたします。



◎絵本だいすきおはなしキャラバンについて

◎小学生のためのブックトーク「おいでよ！よむよむ探検隊」について

◎布の絵本とさわる絵本について

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡（5）から（7）までを一括して図書館、お願いいたします。

○図書館長補佐（山本征史君） 図書館から資料5、6、7に基づきましてご報告いたします。

本市では、第3期府中市子ども読書活動推進計画におきまして、10月を「子どもの読書月間」と定め、さまざまな事業を行っています。その事業についてご報告いたします。

1点目としまして、お手元の資料5「絵本だいすきおはなしキャラバン」についてご報告いたします。市内のおはなしボランティアグループ「絵本だいすき」が図書館以外の会場で1・2歳児と保護者を対象に、手遊びや絵本の読み聞かせなどを行う楽しいひとときを過ごし、親子のふれあいや絵本の楽しさを体験していただくものです。日程と会場は資料のとおりでございます。

続きまして、資料6「小学生のためのブックトーク『おいでよ！よむよむ探検隊』」につい

てご報告いたします。中央図書館では、小学生4・5・6年生を対象に、テーマで集めた本を紹介するブックトークを開催しております。1回目は、「不思議がいっぱい！」をテーマに楽しく紹介してまいります。日時は10月9日日曜日、午後3時から3時45分まで。中央図書館「おはなしのへや」で開催いたします。また、2回目は11月19日土曜日、3回目は12月10日土曜日を予定していきまして、それぞれ違うテーマで開催いたします。定員は30名で、事前申し込みは必要なく、当日直接会場にお越しいただいております。「広報ふちゅう」やホームページでの掲載、小学校でのチラシの配布などを行い、周知を図っております。

最後に資料7「布の絵本とさわる絵本について」でございます。第3期府中市子ども読書活動推進計画におきまして、子どもと本との出会いの機会の提供の中で、障害のある子どもの読書について推進しております。その1つに、布の絵本とさわる絵本の整備活用を図っており、子どもの読書月間の10月に心身障害者福祉センターきずなで、絵本の展示とご案内のチラシの配布を行うものです。日程は10月1日土曜日から28日日曜日です。機会がございましたら、お立ち寄りいただきご覧いただきたく、ご案内いたします。

以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） それでは、(5) から (7) について、ご質問、ご意見がございましたら、お願いいたします。

○委員（村越ひろみ君） 資料5の「絵本だいすきおはなしキャラバン」とかは6回ほどありますけれども、これは毎年やっておられることですよ。各回どれぐらいの方が参加しておられるのか、リピーターも多いのかなど、その辺を伺えたらと思います。

○図書館長補佐（山本征史君） 毎年6か所の施設で行っておりまして、昨年のデータを申しあげますと、美術館が28名、子ども家庭支援センターが42名、押立文化センターが4名、郷土の森総合体育館が30名、北山保育所が61名で、各施設で差があるものの平均20～30名の方がお話を聞きに来ていただいております。

○委員（村越ひろみ君） ありがとうございます。押立文化センターの4名は寂しいなどと思って、せっかくいいことをしているのもっと広めてもらえたらと思います。お願いします。

○教育長（浅沼昭夫君） ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（5）から（7）までを一括しまして了承いたします。



◎その他

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第5、その他ですけれども、何かございますか。よろしいですか。



◎教育長報告

○教育長（浅沼昭夫君） それでは、日程第6、教育長報告に移ります。

活動状況につきましては、別紙の「平成28年第9回教育委員会定例会 教育委員会活動報告書」のとおりでございます。この報告書は平成28年8月13日から9月2日までの活動内容となっております。



私からは特段ございません。



◎教育委員報告

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第7、教育委員報告に移ります。

活動状況については別紙のとおりでございます。

まず、崎山委員、お願いいたします。

○委員（崎山 弘君） 報告書にもありますが、9月1日木曜日に、府中市美術館で企画展「とことん！夏のびじゅつ（じ）かん」と常設展「燃える東京・多摩 画家・新海覚雄の軌跡」を観覧してまいりました。企画展「とことん！夏のびじゅつ（じ）かん」では、本城直季さんのミニチュア風写真とその風景に合わせたテラダモケイの寺田尚樹さんのミニチュア模型の組合せがとてもおもしろく、子どもだけでなく大人も楽しめる作品が並んでいました。「表現されたものを見る」ということを、子どもたちが美術作品を楽しみながら理解できるという点で、ハードルの低い、わかりやすい展示でした。

そのほかの絵画なども工夫された展示をされていました。たまたま新町小学校の6年生が美術鑑賞に来ていました。校長先生ともお話をいたしました。学芸員の方から説明を受けながら、子どもたちは楽しそうに絵画の鑑賞をしていました。

子どもたちは海外の美術館などにある有名な絵画や彫刻を、教科書を見ることによって知識として記憶することは可能でしょう。しかし、教科書を鑑賞の対象とすることは困難です。世界的に有名な作品ではなくても、その絵画の実物の大きさに触れることも大切です。それ以上に、学芸員の方から「この絵の中に描かれている子どもは何を思っているのかな、ちょっと悲しそうな顔にも見えるよね、どう思う」などと絵を感じるヒントをもらいながら見ていると、美術にあまり興味がなかった子どもでも、絵画に対する感想を持つことができるようでした。絵についての解説や説明を受けるということよりも、子どもたちの気持ちを引き出すように心がけておられるようで、とても有意義な鑑賞教室であると思いました。

府中市にはこのような立派な美術館があるので、ぜひ多くの小学生、中学生が今回の新町小学校のように本物の作品に触れながら行える美術教育の機会が得られるように努力していただけたらと願いました。

以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。

それでは、続きまして齋藤委員、お願いいたします。

○委員（齋藤裕吉君） 8月27日土曜日に、第31回府中市青少年音楽祭、午後の合奏の部を参観いたしましたので、そのときの感想を申し述べさせていただきます。

この午後の部では9つの団体の演奏がありましたけれども、そのうち5つの団体が和太鼓の演奏でした。講評の先生もおっしゃっていましたが、府中は和太鼓が盛んであるということを改めて感じました。小学生、中学生、一般と年齢段階が上がるに従って、迫力や演奏技術などが相応に高まってくるのが感じられて、5団体連続の演奏という形が大変おもしろく感じられました。

また、ブラスバンド関係の演奏では、ある小学校のブラスバンド・アンド・ウインドオーケストラの演奏がユニークでした。40人ぐらいの構成でしたけれども、小学生のみならず、

保護者や保護者を卒業したと思われるような大人の方々が何人も加わっていて、ピエロ風の仮装をした指揮者の方が楽しそうにタクトを振っておりました。

曲の途中では、演奏者のお一人で赤ちゃんをおんぶしたお母さんが立ち上がって、サクソフォンのソロ演奏を行うというようなことなどがありまして、子どもたちを中心に大人たちも一緒になって音楽を楽しむという活動が、実にユニークで微笑ましく思いました。子どもたちの音楽センスや演奏レベルもきっと上がるに違いないと思いました。世代を区切った子どもの育成という形だけが最適な教育の形ではなさそうだなということを、改めて思われました。

明るく楽しい演奏会で、府中市平和都市宣言30周年記念事業の1つにふさわしい音楽祭であったと思えました。

もう1件、8月29日に行われました東京都市町村教育委員会連合会の理事研修会の内容を要点のみ報告いたします。

多摩教育事務所の指導課長による、「これからの時代に求められる学校教育、次期学習指導要領が目指す方向性を踏まえて」というテーマの講演でした。先日には、中央教育審議会の審議のまとめが公表され、今年度末までには告示される次期学習指導要領の基本的な方向性が示されたわけですが、この講演では、これからの時代に求められる資質能力は、一言で言えば、いかなる難問に直面しても問題の本質を見抜き、自ら調査・分析して解決策を生み出し、他者と共同して解決策を実行する力と、それを不断に更新していく力が必要というふうにまとめられていました。

非常に大きなテーマであるわけですが、教育委員会としても学校とともに、子どもたちのためになぜ、何を、どのように改善を進めるべきなのかということを経験現場から突っ込んだ論議を進めるべきときであろうと思っております。

私からは以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。

続いて、村越委員、お願いします。

○委員（村越ひろみ君） 活動は記載のとおりです。

8月28日、早朝から始まった水泳競技大会の開会式は、それまで暑かった夏はどこへやらと思うほどの寒い朝でした。そんな中、選手の皆さんは寒さを感じさせず競技に参加しておられました。その日の午後は、芸術劇場で行われた青少年音楽祭の合唱を鑑賞させていただき、子どもたちのすてきな歌声を聞くことができました。

そして、記載にはありませんが、9月4日には芸術文化祭のオープニングフェスティバルに伺いました。映画にもなった「ちはやふる」の競技かるたの実演も拝見できました。かるたとはいえ、もうすごい競技なのだなど感心して見させていただきました。また、行事やまちの風景を1年間通した府中ということで映像が映し出され、改めて府中のよさを感じることができました。

委員になってからこの4年間、こうして暑い日も寒い日もさまざまな場面で、スポーツや文化活動に頑張り、張り切って活躍する子どもたちや市民の皆様の姿を拝見させていただいてまいりました。そして、今月、その4年間の任期を終えようとしています。

初めは、何をやるにも未知の世界に足を踏み入れたような感じで右も左もわからないまま、

そして発する言葉の重責を感じながら、ただただ一生懸命でした。4年たった今も、そのお役を果たすことができていると思っていまませんが、このような私がこの立場をいただき、たくさんの貴重な経験をさせていただいたことは感謝しかありません。

次期も任を与えられるかどうかわかりませんが、私としては、もし再任があったならば、精いっぱい力を尽くしたいと思いますし、また、任を解かれたならば、普通のおばさんに戻り、来春6人目の孫が誕生ともなりますので、6人の孫たちの成長を見守りながら、一府中市民として静かに生活していけたらとも思っています。

とにもかくにもこの4年間、さまざまところで、またさまざまな形でたくさんの皆様に大変お世話になりました。全ての皆様に感謝申しあげます。本当にありがとうございました。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございました。

続きまして、松本委員、お願いします。

○委員（松本良幸君） それでは、松本よりご報告させていただきます。

今回は8月28日に鑑賞してきました府中市美術館「とことん！夏のびじゅつ（じ）かん」  
「燃える東京・多摩 画家・新海覚雄の軌跡」の感想を述べたいと思います。

府中市美術館では毎年夏休み期間に、児童・生徒の皆さんに美術館を訪問してもらうきっかけになるような企画をしてくださっています。初心者の感覚ではありますが、今年の展示は低年齢の子どもたちにわかりやすいだけでなく、本格的な絵画作品や不思議な写真作品などの展示もあり、大人の私にもとても楽しめた構成であったと感じました。今回の企画をきっかけにして、多くの子どもたちが美術に親しんでくれることを期待しています。

また、常設展示室で展示されていた新海覚雄氏の作品は、戦後の混乱から高度成長期に向かうころの社会の雰囲気を感じるものでした。自分が生まれたころの作品ですが、労働者・社会運動という言葉との関連づけが無意識に刷り込まれている画質を感じ、ある意味懐かしさを覚え、日本でもこのような時代があったのだなと立ちどまって見入ってしまいました。また、20歳から40歳台の若い世代には、これらの絵がどのように映るのかと興味が沸きました。

加えて、今回の企画については、ネット上で話題となる事象があったようですが、作品の評価や見せ方についていろいろな考え方を議論することはとてもよいことだと思っていますので、お互いに市民ファーストを基本に前向きで、活発な議論をお願いしたいと思います。ただ、作品から受ける安らぎや情熱、メッセージなどは主催者側が押しつけをせず、鑑賞する人の感性にお任せするのが一番でないかなと私は心の中でつぶやいています。

そして、個人的なこととなり村越委員もふれましたが、私も教育委員1期目としては、今回が最後の定例会となりますので、1つの区切りとしてこれまでの活動についての感想をつけ加えさせていただきます。

教育委員として4年間、数々の行事や会議に出席させていただき、自分自身とてもよい経験をさせていただいたと感謝しております。会議ではわけのわからない質問や意見を言い、事務局の皆さんにご迷惑をかけたこともあったかと思いますが、レイマンコントロールの使命ということで、どうかご容赦ください。反省点としては、やはり受け身の活動が多かったかなという点です。多少的外れであっても自ら積極的に意見やアイデアを発信していく姿勢をもう少し持つべきであったと思っています。

もしも再任があったなら、事務局のある8階に週1回は顔を出し、積極的な情報収集をし、「おおむね常勤の教育委員さん」と呼ばれるようになりたいと考えております。

結びに、これまでご指導・ご協力をいただきました教育委員会事務局並びに委員の皆様にご心より感謝申しあげ、48回目の教育委員報告とさせていただきます。

ありがとうございました。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございました。

それでは、これで平成28年第9回府中市教育委員会定例会を閉会いたします。



午後4時02分閉会

以上、会議のてん末を記載してその相違ないことを証  
するため、ここに署名する。

平成28年11月17日

府中市教育委員会教育長

浅沼 昭夫

府中市教育委員会委員

崎山 弘